

就労選択支援事業所の申請調査

1	法人名称	一般社団法人あいち発達障害サポートネットワーク				
2	就労選択支援事業所の名称	就労選択支援こねっこ				
3	就労選択支援事業所の所在地の状況	☒ 実施主体となる事業所と同一場所（所在地：愛知県名古屋市中区山手通5丁目21の1） ☐ 実施主体となる事業所とは別の場所（所在地： ）				
4	実施主体となる事業所の名称	就労継続支援B型事業所こねっこ				
5	実施主体事業所のサービス種類（該当に✓）	☐ 就労移行支援 ☐ 就労継続支援A型 ☒ 就労継続支援B型 ☐ その他（ ）				
6	就労移行支援の場合	前年度の就労定着率が4割以上であること（市内事業所の概ね6割が該当）		☐ 該当 ☐ 非該当		
	就労継続支援A型の場合	前年度の評価点が130点以上（市内事業所の概ね6割が該当）、かつ、スコア表の生産活動の項目が50点以上（50点未満は基準違反）であること		☐ 該当 ☐ 非該当		
	就労継続支援B型の場合	前年度の平均工賃月額が2万円以上であること（市内事業所の概ね6割が該当）		☒ 該当 ☐ 非該当		
7	当法人において就労選択支援事業を実施する目的や理念	就労は人生を豊かにする手段である。ただ「働く場の提供できていれば良い」のではなく、人生の各ステージと、家族等との協力等のあり方の変化を見据え、その人らしい人生の展望を持って歳を重ねていくために、働き方は欠かすことのできない要素である。多様な働き方と社会の実情を鑑み、本人の能力と希望を調和させ、その人らしいキャリアと人生設計を共に創造する。				
8	就労アセスメント環境	就労アセスメントの作業場面の確保状況（以下のうち、5項目以上に対応できること）	自己の就労選択支援事業所で実施可能 【該当する場合は○を記入】	当法人内の別事業所で実施可能 【実施する事業所の名称を記入】	近隣の協力事業所（他の障害福祉サービス事業所等関係機関・一般企業等）で実施可能 【実施する事業所の所在地及び名称を記入】	確保できない（適切な就労選択支援の提供ができない）場合の対応方法（適当な他の就労選択支援事業所の紹介その他の対応を記入）
		事務作業（出納仕分け、記録、あて名書きなど）	○			
		PC作業（入力作業、画像の編集など）	○			
		軽作業（組立、包装、部品組立てなど）	○			
		縫製、手芸品等の制作、販売				適当な他の就労選択支援事業所を紹介
		クッキーなど食品の製造、販売	○			
		飲食店での調理、接客	○			
		清掃作業				適当な他の就労選択支援事業所を紹介
		農作業				適当な他の就労選択支援事業所を紹介
		就労選択支援が用いる予定のアセスメント手法、アセスメントシート、マニュアルの整備状況	MWS、BWAP2、GATB、VRT、MSPA、Vineland II（準備中）			（注）準備しているアセスメントの概要を左に記入するとともに、必要に応じて参考資料を添付してください。
実施主体が過去に実施した就労アセスメントの実績	個別支援計画策定時の就労に関するアセスメント31件（2021年11月以降）			（注）具体的に内容及び件数を記入してください。		
9	地域との連携体制	自立支援連絡協議会との連携	・総会への参加・防災部会への参加・昭和区障害福祉サービスガイドブックへの掲載、作成への参加			（注）具体的な連携の内容を3項目以上記入してください。
		近隣の障害者雇用を実施する企業等との連携	・なごや障害者就業・生活支援センター（社会福祉法人共生福祉会） ・尾張中部障害者就業・生活支援センター（社会福祉法人共生福祉会） ・就労移行支援事業所ノックス ・愛知県労働局ハローワーク名古屋中			（注）具体的な連携先及びその内容を3か所以上記入してください。
10	実施主体が提供するサービスについての第三者評価の実施状況	実施の有無（該当に✓）： ☐ 実施済み ☒ 未実施・実施した直近の年月日：・実施した評価機関の名称：・評価結果の家事状況（公表の方法）				
11	情報公表の状況（WAM-NET等への公表状況、財務諸表の公表状況）（該当に✓）	WAM-NETへの公表： ☒ 公表済み ☐ 未公表法人の財務諸表の公表： ☒ 公表済み ☐ 未公表				
12	特記事項					

※ 上記の調査項目は、地域において就労選択支援に期待される、専門的かつ中立的な役割を果たせるかという観点において重視される項目であることから、指定を受けた際には利用者の事業所選択に資することを目的として、この申請調査をウェルネットなどにおいて公表します。